

## 令和4年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属旭川「12年教育の実現」多様な人と関わり、豊かな人生を切り拓く人材の育成－附属旭川「12年教育」の基盤となる豊かな人間関係作りを推進する保育環境の充実－【幼】
事業実施代表者名	園長 佐藤 公文
実施附属学校名	附属旭川幼稚園
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>【事業内容】</p> <p>◆附属幼稚園としての特色ある保育</p> <p>①幼小中12年で育む資質・能力の相互確認と 附属旭川幼小連携プランの作成 附属学校園の立地と特色を生かし、幼小の園児・児童による交流、小中の児童生徒による交流に加え、幼小中の園児・児童・生徒が一体となる体験活動を実施した。また、幼小中におけるカリキュラムマネジメントの取組により、12年を見通した取組による成果を踏まえた教育活動の一層の推進を図った。</p> <p>②非認知能力を育成する遊びの研究につながる 環境の整備と実践資料の収集 園児一人一人が「やってみたい」という思いを高めて豊かな活動を展開するための環境構成を工夫するために保育玩具の充実を図る取組や、園児の活動やその見取りを担当・副担任・支援員等で検証し共有する「フォトカンファレンス」を定期的実施し、環境構成や保育の共有・見直しを図った。</p> <p>③幼児教育における表現遊びの充実 表現遊びの幅を広げるために、共有の楽器（スネアドラム・グロッケン・木琴）を購入整備し、音楽に親しみ豊かな情操をはぐくむ遊びの充実に努めた。</p> <p>④附属旭川幼稚園研究大会を開催。お茶の水女子大学から宮里暁美先生を講師にお招きし、保育の質向上に関わる指導・助言を頂いた</p>

<p>成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)</p>	<p>今年度もコロナ禍の中で、十分な実践研究を進めることが難しかった面はあったものの、園長のリーダーシップにより特色ある研究実践を重ねることが出来た。</p> <p>園児に豊かな心を育み、非認知能力を育む保育の充実を図るために、木製遊具及び音楽教材の整備を積極的に行った。</p> <p><b>【数値目標】</b></p> <p>◇在園保護者の園教育への満足度（肯定的評価）100%（達成） ◇令和4年度の入園希望者（3歳）は定員充足率100%（達成）</p> <p>課題としては、コロナによって実践が難しかった幼小中の連携による12年教育の具体実践を意識したカリキュラムマネジメント（特に附属版架け橋プログラム）の推進が挙げられる。幼稚園教育において育まれた資質・能力の幼小連携による共有化、教育活動による成果の効果的な発信の工夫、子育て支援など保護者のニーズに対応していく取組の更なる推進が挙げられる。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>今年度整備した遊びの幅を広げる教材・教具を生かした保育のあり方についても検証していくことで、幼小の接続を意識した資質能力の育成について検証することが出来る。</p> <p>カリキュラムレベルでの幼小架け橋プログラム旭川版を作成し様々な観点からの附属旭川12年教育の実践を充実させていく可能性を高めていく。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>令和4年9月12日 北海道通信 研究大会記事掲載</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。

支出実績額内訳

(附属学校名 旭川幼稚園 )

区 分	予算額	支出実績額	内訳 (簡潔に記載すること)
旅 費	81 千円		
謝 金			
備 品 費		81 千円	音楽教材 (スネアドラム・グロッケン・木琴)
消耗品費			
そ の 他			

道教育大附属旭川幼稚園 研究大会

質の高い保育を探究

子の遊びや生活デザイン

【旭川発】道教育大学附属旭川幼稚園（佐藤公文園長）は8月27日、同園で4年度教育研究大会を開催した。研究主題「質の高い保育の探究〜幼児期にふさわしい遊びと生活のデザイン」のもと、研究発表や研究協議などを通じて実践の成果を披露。公開保育では主体的に遊びを展開する子どもたちの様子を紹介した。お茶の水女子大学教授で文京区立お茶の水女子大学（こども園園長）宮田晴美氏の講演も行った。子どもを主体とした保育について理解を深めた。



旭川管内 公立幼稚園教育研究大会主任 研究会を兼ねた公開保育の様子。研究発表や研究協議などを通して実践の成果を披露。公開保育では主体的に遊びを展開する子どもたちの様子を紹介した。

旭川管内 公立幼稚園教育研究大会主任 研究会を兼ねた公開保育の様子。研究発表や研究協議などを通して実践の成果を披露。公開保育では主体的に遊びを展開する子どもたちの様子を紹介した。



講演する宮田氏

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。

子どもを主体とした保育について理解を深めた。子どもを主体とした保育について理解を深めた。